



KRSサーキット走行 & ファーストエイド講習 in NATS



バイクをいつまでも安全に楽しく乗るために...

イベント名 KRSサーキット走行&ファーストエイド講習 in NATS

開催日 2010年 2月7日(日)

開催地 日本自動車大学校 NATSオートモーティブパーク
千葉県成田市桜田296-38

主催 柏 秀樹ライディングスクール

代表 柏 秀樹 氏

事務局 魚屋 美智代 氏

HP <http://www.kashiwars.com/>

協力 日本自動車大学校 モータースポーツ科

イベント来場者数 36人

イベント告知 柏 秀樹ライディングスクール広報担当者より告知、
HP掲載 およびイベント時に告知

参加スタッフ 中尾 彩乃(LSFAインストラクター・医師)

山口 さよ 氏(LSFAインストラクター・看護師)

櫻井 節 氏(LSFAインストラクター・NATS講師)

金井 亮忠 氏(LSFAインストラクター・NATS講師)



イベント開催概要



KRS ファーストエイド & 走行会 IN NATS CIRCUIT 2010.02.07 SUN

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
ゲートオープン												
入場:奥ゲート												
NATS CIRCUIT		集合は 7:45 サーキットの中(パドック前)です。奥の門から誘導に従って下さい。マイクロバスでNATSモータースポーツ科の教室へ移動します。		受付 NATS見学ツーリング		受付 NATS見学ツーリング		昼食12:00-13:00		スポーツ走行NATS CIRCUIT		
講習会場(モータースポーツ科教室)					55 前座15 柏校長挨拶	45 榎井先生挨拶				コースにてシナリオ訓練(各共闘)		
										サーキット茶屋にて追加レッスン(外傷手当、ヘルメット取り扱い、など)		
											終了式	撤収

受講生のみさまへ いよいよ待ちに待った、ファーストエイド&NATS走行会です！安全に楽しく乗り続けるためのエッセンスぎっしりの一日です。タイムスケジュール・地図をよく確認して、集合時間や場所に遅れないようにお願いします。

諸注意事項

- ◆集合場所: NATS奥ゲートに7:45です。地図を確認してください。
- ◆持参品: 保険証、スリッパか上履きを持参してください。服装は走行会に適した服装をお願いします。講習会は教室なので、ツナギの方は講習も受けられる服装があるとより良いと思います。テキストの配布があります。
- ◆バイクの音量規制について: あまりにも音量の大きいバイクは走行の際に規制させて頂く場合があります。バッフルのある方は持参して下さい。
- ◆昼食: お弁当が出ます。飲み物については自動販売機もあります。
- ◆その他: 学校なので場内は禁煙です。タバコのゴミ、一般ゴミも絶対に場内に捨てないで下さい。マナーの遵守をお願いします。

LSFAプログラムに基づいた、ファーストエイド講習を開催した。また、0次安全(事故に遭わないように乗る)の考え方にに基づきサーキットコースや路上で、二次災害の防止法・危険状況について実技トレーニングを行った。スクールのコンセプト「いつまでも安全に楽しく走り続ける」に基づき、NATSモータースポーツ科の全面的なご協力の下、一日かけて開催された。



KRS代表 柏 秀樹 氏。

「ビッグマシンを自在に操る」の連載や他のバイク専門誌などで、ライテクと安全について自らの技術と考え方を書きつづけている、バイクジャーナリスト。パリダカ参戦経験もあり、「いつまでも安全に楽しく走り続ける」をテーマにスクールを開催している。



L.S.F.A.ファーストエイド講習

午前の部

ファーストエイド：L.S.F.A. Introductory コースに準じ、約3時間。
CPR・AEDを中心に、L.S.F.A.テキスト内容の項目を紹介した。
参加者への追加スキルに関しては、LSO定期講習への参加や、生涯通じたファーストエイド活動への参加を呼びかけた。

リトルアン 5体

AED デモ機 5機

LSOメール 配布

緊急連絡カード配布

“CPR・AEDの実施可能な手技を身に付け、ファーストエイドの必要性を知る”をエンドポイントに設定し、講習を行った。コースインストラクター 中尾、山口氏、櫻井氏、金井氏で担当し、受講生36人に技術指導もきめ細かく対応することが出来た。

会場についてはNATSモータースポーツ科に全面的にご協力を頂き、教室を貸して頂き、大人数ではあったが十分な環境で行うことが出来た。

年齢層は20代から50代まで、男性が多かったが、女性ライダーも数名参加していた。2009年末のツーリングで、他のツーリングチームの事故に居合わせ、柏 秀樹氏とともにCPRをした経験のあるライダーも居り、受講者同士でファーストエイドの必要性を再確認していた。質問も実践的な内容が多く、積極的で熱意ある受講生ばかりであった。

司会進行も、タイムコントロール・分かりやすさ・ユーモアのバランスが良く、インストラクター各自も受講生も笑顔が絶えないなごやかな雰囲気で行われた。

柏 秀樹氏からは、事故に遭わないためのライディング技術を身につける(0次安全)ためにも、ファーストエイドを学ぶことが重要であるという話があった。また、櫻井氏からは、NATS学生にも伝えている事として「自分の身をまず守ること」の重要性の話があった。立場を別にした両氏の話は、ファーストエイドの基本的なエッセンスに通じるものがあった。講習会はスケジュール通りに進行し、予定されたL.S.F.A.プログラムの全項目の講習が完遂された。

*この内容は、KRS ホームページ、およびモータースポーツ科のご厚意でNATSのホームページで紹介して頂いた。



会場はNATSモータースポーツ科の教室。参加者36名。中には2回目の受講の方も居て、意識の高い方が多かった。



「生の徴候」デモンストレーション中。ツーリング中に事故への対応を経験したライダーからは質問も活発になされた。



気道確保のインストラクション。NATS講師の櫻井・金井先生にご協力頂いた。



参加者もみな積極的に実技していた。

走行会、 路上シュミレーション

午後の部

NATSサーキットにて、KRS校長の柏 秀樹氏、インストラクターの福田 隆夫氏(国際A級ライダー・全日本ロードレース 参戦ライダー)により、実走中のバイクの安全走行について指導が行われた。

タンデムレッスンや事故現場に遭遇した時の正しい対処の仕方、さらに発炎筒を実際に使用し、二次災害の防止や安全確認の方法についても実技を行った。

L.S.F.A.の補講を走行会と平行して行い、全身観察・小外傷のトリアージ、ヘルメットの取り扱いを行った。

ファーストエイドセンター

プレホスピタルケアのみに限る、基本的には医療機関へ振り分けを行うという条件付きで、ファーストエイドセンターを開設した。

・ 携行品

問診表、紹介状

血圧計、体温計、聴診器など

ファーストエイドキット(小外傷に対応)

感染防止用具(消毒、マスク、手袋)

保冷材

ネックカラー、包帯、SAMプリント等

・ 他、成田市周囲地域の休日医療体制を確認した。

走行会は2月で気温は低かったものの、快晴で路面はドライコンディションであり、また主催者の安全管理の徹底により、転倒者の受診は皆無であった。

傷病者は1名のみ、仕事場での天ぷら油による右くるぶしの手掌大の2度熱傷で、イベント参加時に靴による表皮剥離があった為に手当てした。

感想

ファーストエイドは特殊技術でなく、常識として身につけるもの。ずっと安全に楽しくバイクを楽しむために・・・という考えが浸透しているスクールだったので、意欲的で熱心なライダーが多かった。また参加者の表情が生き生きとしており、楽しんで自分の為に受講している様子が印象的であった。私たちも受講生のニーズに応じたファーストエイドの知識技術を伝えてゆけるよう、今後とも努力したい。

LSO事務局 伊東さま:ご指導・アドバイスありがとうございました。

NATS モータースポーツ科さま:会場提供およびインストラクター参加、たくさんの楽しいアイデアを出して頂き、ありがとうございました。

柏校長をはじめ、KRSの皆さま、また事務局で常に窓口となって頂いた魚屋さまに心から御礼申し上げます。

中尾 彩乃 ・ 山口さよ



真剣に話を聞く受講生の皆さん



冬晴れの下、走行会では広々としたNATSサーキットを楽しんでいた



全日本ロードレース選手の福田 隆夫氏は、優しく丁寧な教え方が人気



発炎筒と実際の車両を用いたシュミレーショントレーニング